



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社ユニリタ 上場取引所 東
コード番号 3800 URL <https://www.unirita.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役 社長執行役員（氏名） 北野 裕行
問合せ先責任者（役職名） 取締役 上席執行役員（氏名） 伊藤 正人（TEL）03-5463-6381
経営戦略本部長
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月8日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	5,962	3.7	459	24.4	609	20.2	357	23.1
2025年3月期中間期	5,747	△3.0	368	△26.9	506	△18.2	290	△29.7

（注）包括利益 2026年3月期中間期 443百万円（74.6%） 2025年3月期中間期 254百万円（△42.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	47.04	—
2025年3月期中間期	38.32	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	15,841	12,193	77.0	1,602.30
2025年3月期	15,366	11,971	77.9	1,577.93

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 12,193百万円 2025年3月期 11,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2026年3月期	—	36.00			
2026年3月期（予想）			—	36.00	72.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	12,500	7.0	1,050	24.9	1,200	19.8	850	18.6

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	8,000,000株	2025年3月期	8,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	389,903株	2025年3月期	412,900株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	7,595,142株	2025年3月期中間期	7,573,893株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(中間連結損益計算書)	6
(中間連結包括利益計算書)	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期連結累計期間の経営成績の概況

当中間連結会計期間の業績は、売上高59億62百万円(前中間連結会計期間比3.7%増)、営業利益4億59百万円(同24.4%増)、経常利益6億9百万円(同20.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益3億57百万円(同23.1%増)となりました。

セグメント別売上高、営業利益および営業利益率

		(金額単位：百万円)			
		2025年3月期 中間会計期間	2026年3月期 中間会計期間	前年同期比	
				増減	増減率
プロダクトサービス	売上高	2,262	2,270	7	0.3%
	営業利益	688	669	△19	△2.8%
	営業利益率	30.4%	29.5%	△0.9pt	—
クラウドサービス	売上高	1,716	1,834	118	6.9%
	営業利益	△274	△235	39	—
	営業利益率	—	—	—	—
プロフェッショナル サービス	売上高	1,768	1,858	89	5.1%
	営業利益	99	171	71	71.3%
	営業利益率	5.7%	9.2%	3.5pt	—
連結	売上高	5,747	5,962	215	3.7%
	営業利益	368	459	90	24.4%
	営業利益率	6.4%	7.7%	1.3pt	—

セグメント別の経営成績は以下の通りです。

プロダクトサービス事業は、売上高22億70百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益6億69百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

当事業の主力であるメインフレーム向け製品については、富士通株式会社が2022年2月に発表した撤退計画の影響が徐々に出てきているものの、他のプラットフォームへの移行案件の受注等が当該影響分を補い、事業全体の収益は微増となりました。

また、当事業の注力商品である「まるっと帳票クラウドサービス」については、業績への寄与は限定的ではありますが、帳票の配代行業務に対するニーズを捉え、売上が伸長しました。

クラウドサービス事業は、売上高18億34百万円(前年同期比6.9%増)、営業損失2億35百万円(前年同期比39百万円の損益改善)となりました。

当事業に属する主な製品・サービスの経過ですが、「LMIS」については、企業のシステム運用アウトソーシング需要の増加を受けたITサービス事業者からの受注増等により売上が伸長し、増収と損益改善に寄与しました。

「Waha! Transformer」関連では、生成AI連携サービス「SecuAiGent」が、情報漏洩防止と回答精度向上を兼ね備えた機能(特許番号：第7662875号)から引き合いが活発化しています。「Digital Workforce」については、仕入原価の低減により収益性は改善しましたが、売上は微増にとどまりました。

プロフェッショナルサービス事業は、売上高18億58百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益1億71百万円(前年同期比71.3%増)となりました。

当社グループの強みであるサービス&データマネジメント領域のコンサルティング事業への引き合いが堅調であったことに加え、システムインテグレーション事業の収益性が回復したことにより増収増益となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末(以下、当中間期末)における総資産は、前連結会計年度末(以下、前期末)と比較して4億74百万円増加し、158億41百万円となりました。これは主に現金及び預金が2億86百万円、投資有価証券が1億34百万円及びソフトウェアが68百万円それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

負債は、前期末と比較して2億53百万円増加し、36億47百万円となりました。これは主に、前受収益が1億75百万円、未払法人税等が1億44百万円、繰延税金負債が43百万円及び買掛金が30百万円増加した一方で、流動負債その他が1億62百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前期末と比較して2億21百万円増加し、121億93百万円となりました。これは主に、利益剰余金が91百万円及びその他有価証券評価差額金が92百万円増加したことに加え、自己株式が35百万円減少したことによるものであります。利益剰余金については、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により3億57百万円増加し、配当金の支払いにより2億65百万円減少しています。

この結果、当中間期末における自己資本比率は77.0%(前期末は77.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月13日の「2025年3月期 決算短信」にて公表しました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,680,730	9,967,082
受取手形、売掛金及び契約資産	1,361,938	1,354,529
棚卸資産	39,957	46,909
その他	352,925	378,397
貸倒引当金	△40	△40
流動資産合計	11,435,510	11,746,878
固定資産		
有形固定資産	77,538	69,791
無形固定資産		
ソフトウェア	428,694	497,546
のれん	244,641	206,669
その他	4,299	4,299
無形固定資産合計	677,635	708,514
投資その他の資産		
投資有価証券	2,852,585	2,986,784
繰延税金資産	108,864	112,625
差入保証金	171,993	172,380
その他	42,306	44,188
投資その他の資産合計	3,175,751	3,315,979
固定資産合計	3,930,925	4,094,285
資産合計	15,366,436	15,841,164

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	398,349	428,793
未払法人税等	90,893	234,927
前受収益	1,781,966	1,957,393
賞与引当金	135,136	155,126
その他	690,328	527,365
流動負債合計	3,096,674	3,303,608
固定負債		
長期未払金	82,326	80,066
繰延税金負債	121,001	164,302
退職給付に係る負債	94,453	99,477
固定負債合計	297,780	343,846
負債合計	3,394,455	3,647,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,330,000	1,330,000
資本剰余金	1,599,379	1,607,727
利益剰余金	9,159,340	9,251,103
自己株式	△628,728	△593,244
株主資本合計	11,459,990	11,595,586
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	483,896	576,548
為替換算調整勘定	28,093	21,574
その他の包括利益累計額合計	511,990	598,122
純資産合計	11,971,981	12,193,709
負債純資産合計	15,366,436	15,841,164

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	5,747,467	5,962,861
売上原価	2,507,289	2,593,775
売上総利益	3,240,177	3,369,085
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,145,005	1,215,841
賞与引当金繰入額	54,743	37,824
退職給付費用	20,935	21,055
研究開発費	205,298	199,681
のれん償却額	37,972	37,972
その他	1,407,259	1,397,704
販売費及び一般管理費合計	2,871,215	2,910,080
営業利益	368,962	459,005
営業外収益		
受取利息	1,912	9,553
受取配当金	134,020	129,839
保険配当金	4,445	3,089
持分法による投資利益	-	3,975
その他	4,076	6,603
営業外収益合計	144,454	153,060
営業外費用		
持分法による投資損失	3,894	-
為替差損	2,092	2,229
コミットメントフィー	501	499
営業外費用合計	6,487	2,729
経常利益	506,928	609,336
特別損失		
固定資産除却損	923	-
減損損失	-	20,601
特別損失合計	923	20,601
税金等調整前中間純利益	506,004	588,735
法人税等	215,709	231,423
中間純利益	290,295	357,312
親会社株主に帰属する中間純利益	290,295	357,312

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	290,295	357,312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,337	92,651
為替換算調整勘定	9,090	△6,518
その他の包括利益合計	△36,247	86,132
中間包括利益	254,047	443,444
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	254,047	443,444
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	506,004	588,735
減価償却費	149,420	118,411
減損損失	-	20,601
のれん償却額	37,972	37,972
賞与引当金の増減額(△は減少)	△129,778	19,990
受取利息及び受取配当金	△135,932	△139,392
持分法による投資損益(△は益)	3,894	△3,975
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	227,875	7,627
前受収益の増減額(△は減少)	172,687	176,337
未払金の増減額(△は減少)	△199,197	△92,704
未払費用の増減額(△は減少)	△271,462	△93,037
その他	△140,249	23,429
小計	221,235	663,995
利息及び配当金の受取額	137,025	140,473
法人税等の支払額	△288,298	△124,307
法人税等の還付額	4,241	53,158
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,204	733,320
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△413,800	△1,413,800
定期預金の払戻による収入	413,800	413,800
有形固定資産の取得による支出	△766	△2,187
無形固定資産の取得による支出	△100,298	△176,258
その他	△2,623	1,888
投資活動によるキャッシュ・フロー	△103,687	△1,176,558
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△257,111	△265,732
財務活動によるキャッシュ・フロー	△257,111	△265,732
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,546	△4,676
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△280,048	△713,647
現金及び現金同等物の期首残高	9,013,691	8,801,930
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,733,643	8,088,282

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年7月2日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役等（社外取締役を除きます。）に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。この処分により自己株式は35,484千円（22,997株）減少いたしました。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プロダクト サービス	クラウド サービス	プロフェッショ ナルサービス			
売上高						
外部顧客への売上高	2,262,807	1,716,009	1,768,651	5,747,467	—	5,747,467
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,881	95,899	246,664	367,445	△367,445	—
計	2,287,688	1,811,908	2,015,315	6,114,912	△367,445	5,747,467
セグメント利益又は 損失(△)	688,807	△274,586	99,996	514,216	△145,254	368,962

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用とは、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費を指しております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プロダクト サービス	クラウド サービス	プロフェッショ ナルサービス			
売上高						
外部顧客への売上高	2,270,099	1,834,196	1,858,565	5,962,861	—	5,962,861
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,769	93,304	332,573	437,647	△437,647	—
計	2,281,868	1,927,501	2,191,139	6,400,509	△437,647	5,962,861
セグメント利益又は 損失(△)	669,420	△235,231	171,336	605,525	△146,520	459,005

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用とは、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費を指しております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに帰属しない全社資産において、システム開発計画の変更により今後の利用が見込めなくなったソフトウェアについて20,601千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。